

## 市内216～217例目（県内380、385例目）の概要

令和3年5月11日公表

5月10日に実施した新型コロナウイルス感染症の検査の結果、新たに2名の方、市内216～217例目（県内380、385例目）となる感染者が確認されました。

感染者の状況については、別紙「新型コロナウイルス感染症の発生について」をご参照ください。

216例目の方は、5月7日に倦怠感、8日に38度台の発熱、頭痛、咽頭痛の症状があり、10日に市内の医療機関を受診されました。同日抗原定量検査を行った結果、陽性であることが判明したものです。

昨日は保健所の指導の下に自宅で待機し、本日11日に感染症対策を講じた県内の医療機関に入院予定です。

本日、37度台の発熱、頭痛、咽頭痛の症状はありますが軽症とのことです。

発症日2日前、5月5日以降の感染可能期間に市内の勤務先に出勤されており、接客の機会があったことから、現在勤務先の協力により接触者の把握を進めています。その他の行動歴にかかわる接触者は把握できています。

発症日2週間前、4月23日以降の調査期間において、県外への移動歴はありませんでした。

217例目の方は、5月9日に、本人から松江保健所に寄せられた、県外感染者の濃厚接触者であるとの相談から、10日にPCR検査を行った結果、陽性であることが判明したものです。

昨日は保健所の指導の下に自宅で待機し、本日11日に感染症対策を講じた県内の医療機関に入院されました。

本日、症状はないとのことです。

発症日2日前、5月6日以降の感染可能期間に不特定多数への感染の恐れがあるような行動歴はなく、現時点で聞き取り調査により接触者は把握できています。

発症日2週間前、4月24日以降の調査期間において、県外への移動歴がありました。

今後も調査結果を踏まえ、必要な調査を実施するなど、引き続き感染拡大の防止を図ってまいります。

発熱や咳などの体調不良時には、まず仕事や学校を休んでいただくことが、感染拡大の防止につながる大切な行動です。

また、家庭内にあっても、部屋を分ける、換気する、マスクをつけるなどの基本的な感染予防策をとるよう注意しましょう。

そして自己判断せず、すぐにかかりつけ医に相談・受診する、積極的に検査を受けるなど、万々に備えた対応をお願い申し上げます。

市民の皆様には、大切な家族や友人を守るためにも、感染防止の基本である「フィジカルディスタンスの確保」「手洗いの励行」「マスクの着用」の徹底や「三密の回避」をはじめとする「感染しない、させない」ための取り組みに引き続きご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染症は誰でも感染する可能性があります。患者やその関係者また医療関係者を励まし、応援する思いやりの心を持っていただきますよう、重ねてお願いを申し上げます。